

受付番号： 2020-1-1165

課題名：CT 透視下生検における従事者被ばく線量の後ろ向き調査

1. 研究の対象

2014年3月～2020年3月にCT透視下生検（骨軟部）を受けた患者

2. 研究期間

2021年3月（倫理委員会承認後）～2023年3月

3. 研究目的

CT透視下生検における放射線従事者被曝線量を後ろ向きに調査する。

4. 研究方法

- ・CT透視下生検を行う放射線科医師の水晶体被曝線量値を後ろ向きに収集する。
- ・上記に加え、使用するCT装置から線量パラメータ（CT透視時間、CT透視管電流時間積）を抽出する。また、生検部位や生検種類（骨・軟部）を読み取る。
- ・水晶体被曝線量値と装置パラメータから相関関係を導出し、水晶体被曝線量推計可能かを解析する。さらに、ICRP新勧告を超える恐れがないか検証する。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・CT透視下生検における放射線業務従事者（医師）の普段着用している個人線量計データ
- ・CT装置に表示される線量パラメータ（透視時間、線量時間積等）
- ・CT透視下生検における生検部位や生検種類（骨・軟部）

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

本学単独研究

研究責任者・・・稲葉 洋平 助教

研究責任者の所属分野の長・・・千田 浩一 教授

研究分担者・・・常陸 真 助教

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：東北大学災害科学国際研究所災害放射線医学分野 稲葉 洋平
inaba@med.tohoku.ac.jp

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)＞

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合